

中部会長会（現・次期）会議録



開催日時：2022年5月12日（金）
19時～20時30分 ZOOM開催

参加者

中部役員：山内ミハル（中部部長）、松本 勝（次期部長）、服部庄三（次々期部長）
荒川恭次（書記） 浅野猛雄（次期書記）

現クラブ会長：戸田真二（名古屋）、橋爪良和（東海）、阿部一雄（グランパス）、
小泉宗政（とやま）

次期クラブ会長：山内ミハル（金沢）、戸田真二（名古屋）、松原行謙（グランパス）

議 題 「第3回役員会、第1回準備役員会」について

4月1日～2日開催の第3回役員会、第1回準備役員会議事について山内部長、松本次期部長より報告を受け意見交換を行った。特に区費値上げについて幅広く意見を聞き以下にまとめました。

1. 第3回役員会について（山内部長）

私が部長を務めさせていただきあと2ヶ月足らずとなりました。お陰様でどうにかこうにかヨチヨチ歩きですけれどもやってまいりました。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。4月1日2日に行われました第3回役員会について報告します。次期役員会には出ておりませんので次期松本部長よろしく願います。

現行では区費は会員1人当たり前期後期各7500円。改正案では区費は会員1人当たり前期後期各9000円ずつ、1500円ずつ合計3000円の値上げです。今まで15000円納めていたのを18000円にするということ。以前より区役員会では区費を値上げしなければ厳しいという意見もあったようです。区費値上げについての反対意見は、例えば「メンバーが減る」「値上げなど言語道断」「ボランティアなんだから全て身銭切れ」とのご意見も1部にはありましたが全般的には「やむを得ない。区費の値上げは必要、値上げは容認するがまだまだ区の体勢を見直したり改善すべきところがあるはず」という意見が多かったようです。以前の役員会では「5000円ぐらいはやむを得ない。年間5000円の値上げということは月にすれば500円弱400円くらいになるので、コーヒ

一1杯ぐらいだろう。なんとかならないか」「年間五千元ぐらいの値上げはやむを得ない」という意見が強かったように私は感じていた。それを部長が各部に持ちかえり、私も中部の十二月の初めに評議会で説明させていただきましたが、非常に細かい資料をも出されまして、5000円ぐらいはやむを得ない、と私自身はその気持ちで説明をしたつもりですが。各クラブから直接西日本区書記に多くの意見書を送っており、やむを得ないだろうという意見もあれば、反対だというような意見もあったようです。しかし、最終的には年間3000円値上げをお願いしたいというのが第5号議案で今度の代議員会に出されるはずです。

できましたらこれはあんまりもめないで進めていただけたらなという気持ちが役員会の中にはありますので、その辺りを理解してほしい。第3回役員会の賛否は、賛成16、棄権1で可決されました。

2. 第1回役員会について（松本次期部長）

区費の値上げについて、大きなところは予算だったと思います。いろいろ資料をいただいて見ましたけども年間3000円あげる場合とあげない場合、それから5000円にした時はどうかとかいうシミュレーションの表もいただきました。これは本当に1年や2年で片付く問題ではないと思います。基本的な構造を変えないと解決しないのではないかという気がします。出されてきたものは何とか現状のフレームの中でどれほど節約できるかということ在必死になって考えてこられと受け止めました。次年度の2023年から2024年度の予算額は収支で見るとなんとか年間で28万円プラスとのことです。3000円あげてですね。ですからあげないとやっていけない。ますます残っているお金を食いつぶすことにしかならない。その中で事業費区分があってYサユース・T O F・B Fその他様々な献金をしてそれを活用してもらってます。こういう事業費は年間予算で170万円ぐらい持ち出し状況で、一般会計から補填をしている。こういうものももう1度見直す必要があるかもしれない。本当にここまで支援をしていくのか考え直す、自分達の体力にどれほど見合っているのかということも、見る必要があると思います。今それをすぐ辞めていいわけではないので、170万円年間で持ち出しをして、一般会計で補填をしてなんとかそういう事業を続けているという状況だと思えます。そういう中で出されてきた予算案を現状のフレームの中では精いっぱいだということで、次期の役員は全体としては承認する方向です。

課題はいくつかありますが精一杯削減できるようにしながら作られた予算ではないかと思えます。ロースターの件については論議がありましたがペーパーじゃなくていいのか、内容はどうなんだっていうことの論議もしてこれはまあ皆で話し合ったという程度でした。

（全体を通しての意見交換）

・第3回役員会議案提案理由の別紙2による今後見込める改善策なども踏まえてと書いてあるが、改善策があって値上げの話が出るのが順序かと思うがそうっていない。

・別紙2は添付されていないが、改善策として、協議案1ではロースターの電子化について協議しました。協議案2では西日本区の法人化について考えてはどうか、協議案3では西日本区の役員会・常任役員会開催の持ち方について経費の削減を含めて協議され

ました。今後はスリム化等具体的な案が出るものと思います。

- ・区費値上げについて賛成というわけではないが致し方ない。やっぱり体勢をもう少し小さくして経費を削減するようにと基本的には思ってます。

- ・体制のスリム化と言って関係するのは交通費だけです。でも人数の問題でもある。

- ・役員会は投票権の持ってる役員とそうではない人（常置委員会委員長等）がいます。投票権のない人は現地来になくても良いと思います。ZOOM参加で十分じゃないかと思えます。

- ・例えば役員会参加者全員が九州で会議やろうとなったら交通費が大変かかかります。役員の数というのは人件費がかかるわけではないので、交通費なんですね。その辺のことを次期で揉んでいただければと思います。代議員会は交通費支給率が50%です。通常の役員会だと70%支給ですね。これをもっと減らせということで、どんどん減らしていくと個人負担がどんどん増えるので、それもどうかと思います。

- ・今の私のクラブの会費でもなかなか若い人を会員に呼べない。金沢クラブは年間84000円、月7000円の会費である。若い20代ではとてもそれだけのものは出せない。20代と30代の方はこれから家庭も持たなきゃいけないし、子育てもしなきゃいけないし、そういう年代の方に我々と同じ84000円の会費はちょっと酷だ。そうだったら入会者がいないと言うので、西本区に支払う15000円は月割りにすると1250円になるのでそれを1500円にして、後は例会時の食事代だけ実費を払う、そういうことでやっと1昨年に23歳の大学出たての男の子を会員にすることができた。でもその子も今なかなか例会には出てこれない。勤務の事情があって、就職のしたてですぐには早引きとか、早退させてくれとか言うことができないので、遅くまで仕事していると例会に間に合わない。そんな状態なので年会費も本部の値上げは辛いです。かといって交通費出さないってことになると、今度は役員の引き受け手がなくなってしまう。

- ・役員の人数を減らすしかない。常置委員会委員長はたくさん出てますね。

- ・常置委員会委員長は出ているけど、皆さん一生懸命やるということなんですが、バランスの問題もある。

- ・参加者は役員会参加名簿を御覧になった通りです。

- ・この人たち全員。交通費出てるんですか？ 出ています。

- ・投票権のある方以外は常置委員会の方はオフサーバーで参加していただき、委員会報告をされているし意見も述べられる。

- ・これは委員会を良くしていこうという方向性であれば、みんな出て意見をいろいろ出しながらやるっていうのが本来一番理想なんだけども。そのバランスが難しい。

・これは割り切りですね。はっきりと言った方がいいですよ。決算書の数字みれば明らかです。

・区役員会はZOOMでは成立はしないですか？ 成立いたします。
・今後そういった1箇所に全国から集まらなくてもZOOM開催することによって交通費は浮きますよ。

・確かにコロナ禍の2年間において全部の会議をZOOMで開催し、交通費は浮きました。

・そういった1つのアイテムというか、私のNPOでもZOOM参加で総会が成立するようになってます。そういう形で今後集まらなくて、交流の場合があるってことは必要になると思いますが、区役員会等の会議とかの場合はZOOMを使うという方法で提案してはと思う。

・それは可能かと思います。役員会は1泊2日でやってるので、夜が交流の場になっている。お酒飲んで楽しい交流の場となっている。それがZOOMだと出来ないという話があります。

・年間4回の役員会はそのうちの2回だけ集会にして後はZOOMにしてもいいなと私は思う。だからそういう案件を中部でまとめて役員会で提案していただきたい。

・国と一緒にですね。1100兆円超える借金が国に溜まってる。でもそれはこう改善すればいいというふうに皆さんご意見を申し上げるが、現実には使うことばかりで、あるいは国会議員の数も本当に何百人も何をやってるのか分からない状況で、それでも国会議員は減らない。減らない理由はそれぞれの理由があるわけです。例えばさっきの役員会の人数の問題でも。私自身も経験してるのでよくわかるが、一泊二日の役員会は実に交流が豊かでお酒飲んで楽しくそれが唯一のワイズの楽しさだというような感覚も実際あります。私はすごく分かりますが。一方で今の経費を考えると、ちょっと壊滅的な状況なのでここは本当に基本に帰って、ワイズ運動は一体何なのかということを考え直す時期に来ていると思う。だから今値上げすることに反対ということは言わないが、クラブの中でいろいろ話をして、やはりもうちょっと経費を削減して組織のことを考えるべきだという厳しい意見もありましたけど、それもすごくよく分かることだし、そうやって行かなきゃいけない。でも翻って原点に帰ってワイズは組織を維持するためにやるのか、各クラブの活動、日々何やってるのか、地域の組織のクラブのメンバー達が毎月の会合の中で何をやって何をやれるような組織作りをしているのかということの方が重要だと考えて、考え方を改めないで本当に大きな曲がり角に来てると思う。このまま値上げしなければ潰れるというような状況なんですけど、あげたその後2、3年後どうなるのかってことですよね。考え方変えないと組織を変えていかないと。今の問題は全く同じことを堂々巡りで改善できないと思います。役員会も年間4回だったら、2回ZOOM開催というのも1つの方法だと思います。今までと流れが違って、ワイズの楽しい1泊2日

の懇談会を犠牲にするのかと当然意見出てくると思います。それはそれですごく楽しいし、有意義だと思うんですけど。そこを変える時に来てるんじゃないかなと思います。

- ・組織改革は一年では動かない。単年度ではできないようなことがいっぱいある。ワイズの持っている1つの弱さみたいなものがあるような気がします。

- ・単年度ではいけないからトロイカ方式を行っている。次期、元、直前と連携しているが、当年度理事が自分の年度のプラスアルファの目標立てるのでどんどん積み重なって現状になってしまった。その反省もありスリム化するという、改革案はもう乗れる話かと思っています。

- ・基本的な方向として現状維持なのか、会員を増やして拡大するのか、もっとシビアに現状を見て、もう少しスリムになるのかという方向を基本的に皆が持たないと話がばらばらになってしまう。皆言いたいこと言って纏まらず結局は変わらない。

- ・単年度の役員ってというのが1つ大きな要素だと思います。各事業主任もその都度自分の任期は1年だからとどうしてもやりたいことを目標に上げる。それがまた次年度にもある程度プラスアルファで乗ってくる。当然重なってきます。

- ・事業主任は何かやらなければならないのか。何もやらないことがお金を使わなくて1番いいということになります。

- ・このままで行くと各クラブの活動というよりも、組織を維持するために区なり事務局の組織が肥大化して管理費だけが膨らんでいくような状況で、我々のワイズメンズ運動って何なのかっていうところになってくると思います。私たちは今YMCAサポートクラブということで団体でやってますけど。そういう根本のところ、本当にこの状態でやっていけるかどうかです。組織を維持するためだけに我々は汲々としているのか。そうではなく各クラブの活動が原点だし、そこに参加する人達の思いをなんとかしたいっていうのが原点じゃないですか。

- ・区役員さんのご尽力は本当に大変だと思います。そのことには頭下がりますけれども、やっぱり客観的に考えないと厳しいところへ来ている。

- ・会員減少でEMCがずっと大事だと思うが、かといって現状維持からぼんと跳ね上がるっていうことは人口構成から言ってもないと思います。そういう中である意味下向きに進む組織のスリム化が将来を見越した大きな長いスパンの課題として持つ必要がある。

- ・具体的にどうしたらいいかっていうのは分かりませんが。その方向を持つかもたないかで全然違う気がする。

- ・交通費を削減するとか、そういう具体的なことはともかく、管理費の削減かと思っています。基本的に各クラブの成果に結びつけていくこと。組織を維持するためだけに、金も

時間もあんまりかけなくてもいいと思う。

- ・ワイズ戦略委員会という新委員会が次年度から発足する。ワイズのことを真剣に考えようとする特別な委員会とのことです。ここへ物申し申すことができれば。結構反応があるんじゃないかと思う。部の中だけで話したとしても西日本区の改善にはつながらない。
- ・今の西日本区はワイズとして何かをやらなければという思いが強すぎるかもしれない。
- ・昨日我々のクラブの例会に南山クラブ 2 人がゲストで見えたんですが、もうこれ以上西日本への義務は果たせないとのこと。第二第三の南山クラブが出るかもしれない。たかが 1500 円、年間 3000 円かもしれないが、1 年 2 年経つうちに拡大はしていくでしょう。絶対に増えてくると思います。
- ・経験は浅いが、皆様のご意見を聞いてこれだったら何とかなるんじゃないかと言うことが伝わってくる。自身のクラブ会費を含めてクラブ内で話し合いたい。
- ・名古屋のワイズメンズクラブは Y M C A に非常に貢献してると思います。それは若い人たちに対するサポートだけでなく。Y M C A の役員としてのワイズの働きもとても大きいし。具体的にお金にしても東海クラブは会館を使用させてもらってる分は費用としてお支払いをしてるし事務費もお払いをしてる。大きな負担にならないようにやっています。役員の派遣、各プログラムへの参加はうちのクラブだけじゃなくて南山だってそうですし。南山の農園はどれだけ幼稚園の子供達に喜ばれてるか分かりません。リーダー達に対しても大きな貢献をしてると思う。本当に名古屋のワイズメンは Y M C A をサポートしていると思います。
- ・西日本区が債務超過になるかどうか分かりませんが、私は将来にはなる可能性はあると思う。今蓄えがありますけど、JWF 資金についてもあることあるんですが、今のままですと使おう使おうという誘惑がどんどん増加すると思いますので、債務超過になる可能性はあります。ここで考えないと日本の財政危機と一緒にだと思えますけど、行く道は増税しかありませんね。
- ・役員をやるメリットは人との交流だと思います。それがあから役員やろうかなっていうところもありますが、全部 Z O O M とかになってしまうとどうしても。難しい面があるから、やっぱりリアルに会ことも大切だし、新しい会員を募るといのはもちろんあるんでしょうけど、人口から言っても減るばかりなので、改革の委員会ができるわけですけど。多分そこだけは 3 年とか 4 年という、皆にパンチャーになってしまうので、誰もやり手がないかもしれない。私は各クラブの楽しみというか、そういうところを取りまとめる本部は 2 人、3 人ぐらいできないのか、そういう発想に変えないといけないと思う。部長は必要かというかそういうことを Z O O M でやって発想も本当に小さくしないと、今の人数に合わせて予算を組むっていう発想がないと現状維持は難しいかな思いました。

・名古屋クラブは次期理事輩出クラブですので先陣を切らなきゃいけない立場ですけど、私としてはまず名古屋クラブそのものが活性化というか生き生きと楽しくどういう魅力を持って例会の充実も含め魅力を引き上げていくかが課題です。クラブそのものがすごく高齢化になっているので、この中でそれぞれの年代に応じたワイズ生活のありかたみたいなものを見ながら、10年先20年先はもうないので、皆さんはもう亡くなってしまふ。今どういうワイズ生活に持っていくかです。これから新しい方を迎える時に西日本区のこの情勢を見せたら入りたいと思うでしょうか。ワイズの本来的な魅力、ワイズに入ったらどういふ楽しみがあるんだろうか？どういふ交流があつてどういふやりがいがあつてどういふ人との出会いがあるのか。そういうことをそれぞれのクラブの中でもう1度確認してその魅力を蘇られせるといふか、それを確認し合つていくことが大事なんだなと感じています。

・西日本区とか国際とかに力を注いでしまふと本末転倒で、クラブの中の充実が1番大事だと思います。新しい人を招き入れるのでも、そうした魅力を伝えていけるようなクラブになる。ですから今は2032年とか10年先つていふのは私たちには遠い。ここまで頑張れない。だからもう少し身近で3年先5年先つていふのを次の世代の人達に残していくためにも変更していくことが必要だと思いますが、単年度でやつていくといふのは気になるところです。その道筋を立てていかなきゃいけないことは必要なことだと思います。

・このまま話し合つてると明朝まで喋り続ける感じですのでこの辺で終わりたいと思います。十分情報共有はできたと思います。本当にありがとうございました。

以 上